

2025年度

権現線

福山市 駅家 町 地内

県単独林道権現線開設工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長	L=36.9m
	道路幅員	
	土工	一式
	路面工	
	コンクリート路面工	A=86.0m ²

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、県単独林道権現線開設工事に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日を除く日を除く土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第3節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第4節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.05.01(0)	
諸経費体系	B 公共 (R01.06~)	
	当世代	前世代
工種区分 復興補正区分 施工地域・工事場所区分 週休補正区分 緊急工事補正区分 積雪寒冷地補正 前払率(%) 契約保証費区分 工事費端数区分 ICT補正区分	07 道路工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 00 補正なし 40 01 0.04% 01 千円未満切捨て 00 補正なし	

本工事費

内訳表

本工事費	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	林道開設・改良	1		式			レベル1
	道路土工	1		式			レベル2
	掘削工	1		式			レベル3
	バックホウ掘削積込 地山の掘削積込 10,000m3未満 砂質土	433		m3			00 単第0 -0001 表 00
	片切掘削(土砂:人力併用機械掘削) 制限あり(山積0.45m3)	51		m3			単第0 -0003 表 レベル3
	作業残土処理工	1		式			00
	ダンプトラック運搬 4t積 砂質土 L=1.7km	485		m3			単第0 -0005 表
	処分費等(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる			m3			

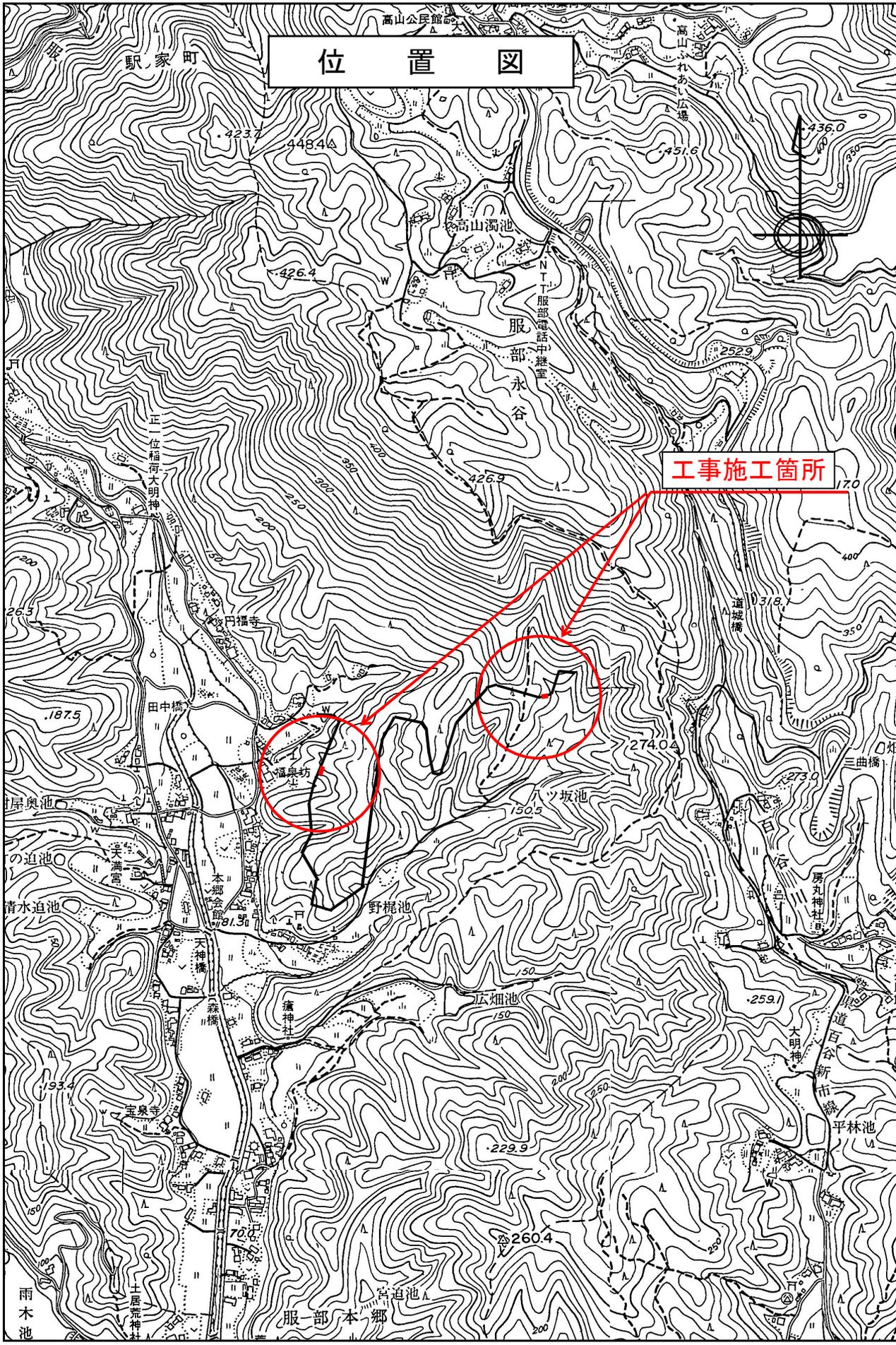
本工事費

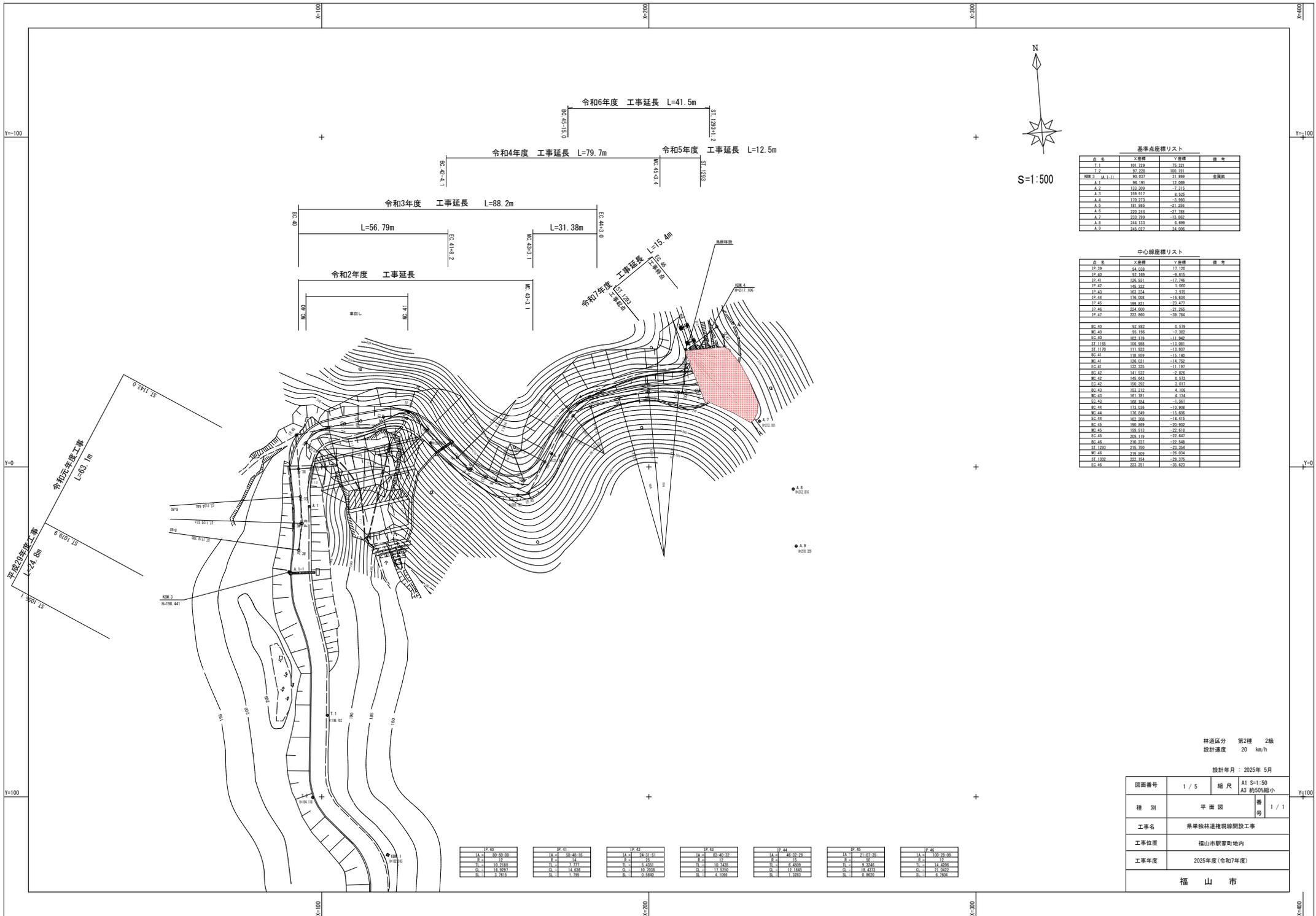
内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
** 工事価格計 **						
** 消費税相当額計 **						
** 請負工事費計 **						

位置図

工事施工箇所





基準点座標リスト

点名	X座標	Y座標	備考
I.1	80.378	35.811	
I.2	87.258	100.181	
標高 A.1 (1:1)	80.381	31.869	基準点
A.2	133.209	-7.315	
A.3	139.917	6.206	
A.4	130.273	-3.393	
A.5	131.965	-21.256	
A.6	220.244	-27.588	
A.7	233.719	-13.852	
A.8	244.123	6.989	
A.9	246.027	24.006	

中心線座標リスト

点名	X座標	Y座標	備考
IP.39	84.038	17.120	
IP.40	86.100	-9.416	
IP.41	105.801	-17.566	
IP.42	145.292	1.000	
IP.43	162.204	7.879	
IP.44	178.008	-16.634	
IP.45	194.811	-22.677	
IP.46	224.600	-21.495	
IP.47	222.895	-29.784	
EC.40	92.882	0.579	
EC.41	95.186	-1.281	
EC.42	109.119	-11.842	
EC.43	108.808	-13.401	
EC.44	111.902	-13.807	
EC.45	118.809	-15.180	
EC.46	130.007	-16.572	
EC.47	132.205	-11.197	
EC.48	141.902	-5.826	
EC.49	145.643	0.872	
EC.50	150.292	3.017	
EC.51	152.212	6.106	
EC.52	161.281	4.124	
EC.53	166.884	-1.267	
EC.54	179.008	-10.908	
EC.55	176.849	-15.606	
EC.56	182.208	-18.815	
EC.57	190.899	-20.302	
EC.58	199.917	-22.619	
EC.59	209.119	-22.647	
EC.60	210.207	-22.568	
EC.61	219.200	-20.864	
EC.62	219.809	-25.034	
EC.63	222.164	-29.176	
EC.64	222.251	-35.492	

IP.40	IP.41	IP.42	IP.43	IP.44	IP.45	IP.46
IA = 80.50-90	IA = 86.88-16	IA = 74.11-51	IA = 82.80-29	IA = 86.32-29	IA = 21.01-39	IA = 106.28-39
IL = 18.2188	IL = 7.777	IL = 6.4801	IL = 10.240	IL = 6.4609	IL = 9.2486	IL = 14.4608
IS = 16.9297	IS = 14.628	IS = 10.7006	IS = 17.3250	IS = 12.1664	IS = 18.4217	IS = 21.0822
ISL = 3.7819	ISL = 1.739	ISL = 0.5889	ISL = 4.1066	ISL = 1.3283	ISL = 0.8820	ISL = 6.7004

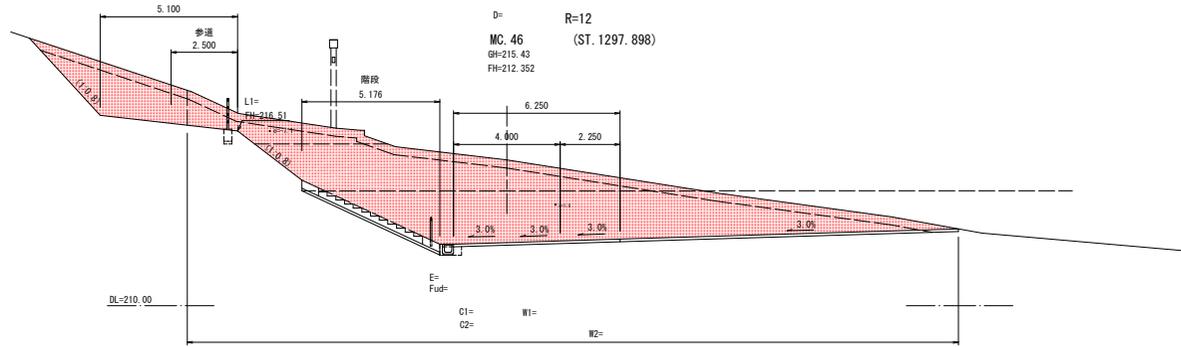
林道区分 第2種 2級
設計速度 20 km/h
設計年月: 2025年 5月

図面番号	1 / 5	縮尺	A1 S=1:50 A3 約50縮小	備考	1 / 1
種別	平面図				
工事名	県単独林道権現線開設工事				
工事位置	福山市駅家町地内				
工事年度	2025年度(令和7年度)				
福山市					

標準断面図

S=1/50

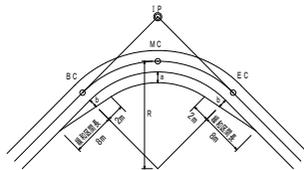
切土部



凡例

記号	工種	数量単位
G1	掘削 土砂	m ²
G2	掘削 土砂 (巻戻り)	m ²
B1	擁壁積土 2.5 ≤ W < 4.0	m ²
B2	擁壁積土 4.0 ≤ W	m ²
B3	擁壁積土 2.5 ≤ W < 4.0	m ²
B4	擁壁積土 W < 2.5	m ²
B5	擁壁積土	m ²
E	戻土 土砂	m ²
Fud	埋戻 (埋戻)	m ²
L1	養生シート	m
L2	養生土嚢形状 -埋戻	m
#	コンクリート舗装 0.6<=t<=1m/2	t=150m
#	コンクリート舗装 0.6<=t<=1m/2	t=100m
#1	砂利舗装 再生砕石 (B)-40	t=100m
#2	洗石・洗車	m

曲線部の拡幅と緩和区間



a = 拡幅量
 b = B C, E C の拡幅量
 R = 曲線半径
 緩和区間長 = 1, 2級 8m
 3級 4m

種類	区分	R	MG	EC	B.C
第2種	1級 (1車線のもの)	16 m以上 19 m未満	0.50 m	0.48 m	
		19 m以上 25 m未満	0.25 m	0.24 m	
		12 m以上 13 m未満	2.25 m	2.00 m	
		13 m以上 15 m未満	2.00 m	1.77 m	
		15 m以上 16 m未満	1.75 m	1.54 m	
	2級	16 m以上 19 m未満	1.50 m	1.32 m	
		19 m以上 25 m未満	1.25 m	1.10 m	
		25 m以上 30 m未満	1.00 m	0.87 m	
		30 m以上 35 m未満	0.75 m	0.66 m	
		35 m以上 45 m未満	0.50 m	0.45 m	
	3級	45 m以上 50 m未満	0.25 m	0.23 m	
		6 m以上 9 m未満	1.00 m	0.90 m	
		9 m以上 12 m未満	0.75 m	0.69 m	
		13 m以上 25 m未満	0.50 m	0.45 m	
		25 m以上 50 m未満	0.25 m	0.23 m	

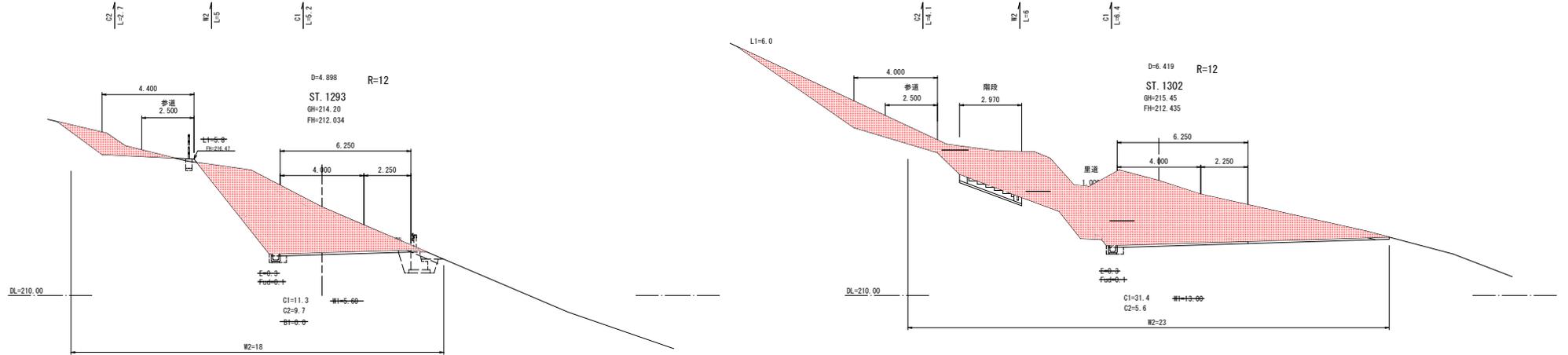
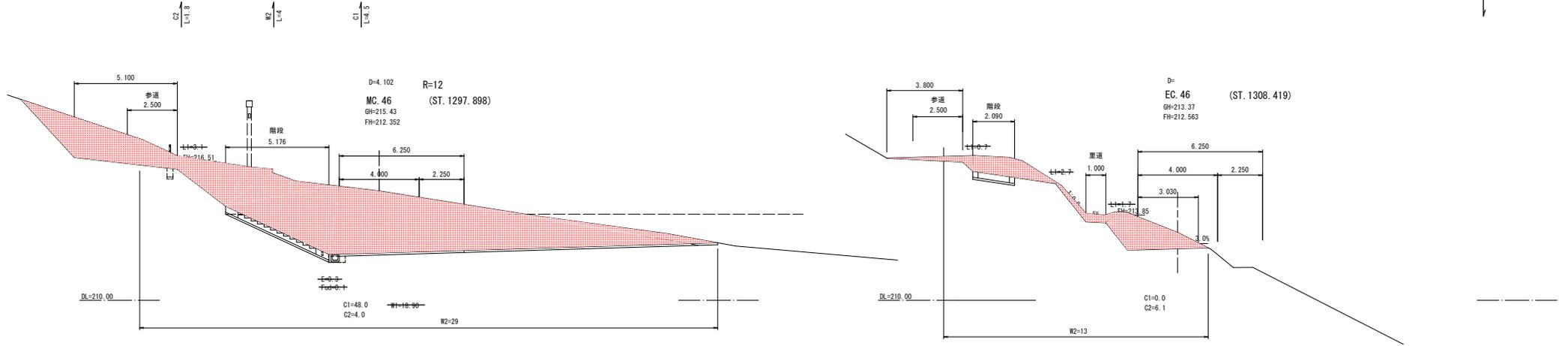
林道区分 第2種 2級
 設計速度 20 km/h

設計年月 : 2025年 5月

図面番号	3 / 5	縮尺	A1 S=1:50 A3 約50%縮小
種別	標準横断面		番号 1 / 1
工事名	県単独林道種現視開放工事		
工事位置	福山市駅家町地内		
工事年度	2025年度(令和7年度)		
福山市			

横断図

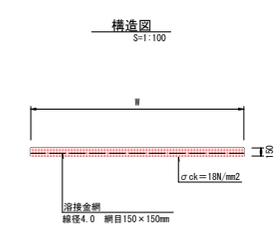
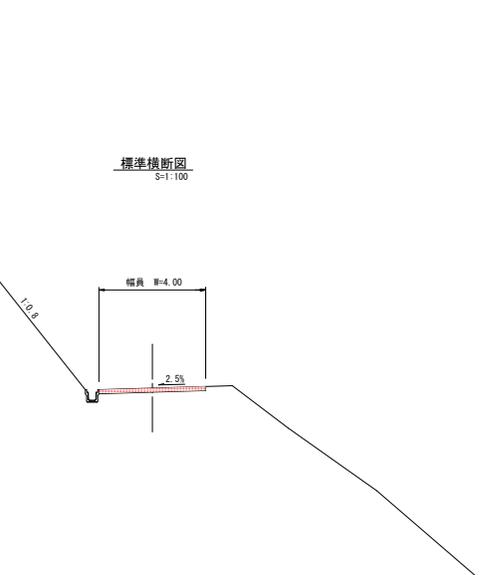
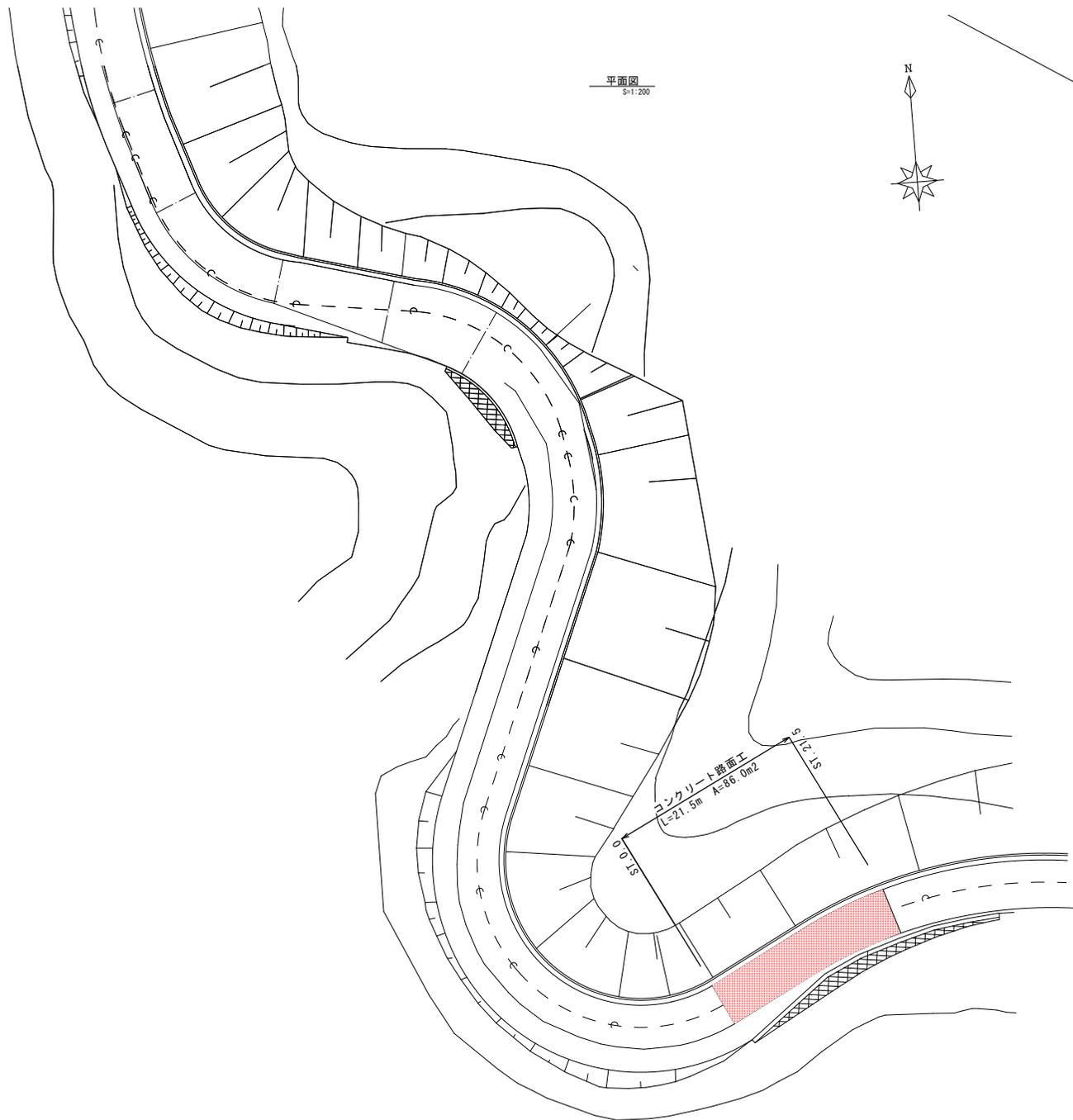
令和7年度 工事終点 EC.46



令和7年度 工事起点 ST.1293

設計年月：2025年5月

図面番号	4 / 5	縮尺	A1 S=1:100 A3 S=1:200
種別	横断図		番号 2 / 2
工事名	県単独林道種現線開放工事		
工事位置	福山市駅家町地内		
工事年度	2025年度(令和7年度)		
福山市			



設計年月：2025年5月

図面番号	5 / 5	縮尺	A1 S-図示 A3 約50%縮小
種別	路面工	番号	1 / 1
工事名	県単独林道権現線開設工事		
工事位置	福山市駅家町地内		
工事年度	2025年度(令和7年度)		
福山市			

【 参 考 图 书 】

溶接金網敷設

施工単価表

単第0 -0008 表

頁0 -0014

線径4.0 網目150×150mm

単位質量1.38kg/m²

100

m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
溶接金網<JISG3551> 線径4.0, 網目150×150mm 単位質量1.38kg/m ²	100	m ²			
普通作業員	2	人			
諸雑費	1	式			
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

コンクリート路面工（人力舗設）

施工単価表

単第0 -0009 表

頁0 -0015

コンクリート厚15cm

100

m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
生コンクリート	15.60	m ³			10.4*1.5
土木一般世話役	0.20	人			0.2*1
特殊作業員	2.30	人			2.3*1
普通作業員	3.50	人			3.5*1
諸雑費	5	%			
一般養生工 無筋構造物	15.00	m ³			単第0-0010 表 10*1.5
計	100	m ²			
小計	1	m ²			
A=2 15cm C=1 距離割増無し E=1 労務歩掛補正值			B=2 小型割増有り D=1 小運搬なし F=1 普通養生		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.08	人			
普通作業員	0.25	人			
諸雑費	10	%			
計	10	m3			
小計	1	m3			
A=1 無筋構造物					

施工単価表

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	56.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	21.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0018

集積積み(機械施工)(伐木除根)

SPK24040182

単第0 -0012 表

除根作業有り

1

m2 当り

機械構成比: 31.10% 労務構成比: 58.53%

材料構成比: 10.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

90.9650

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音・排2014 山積0.5/平積0.4m3	26.94%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2014 山積0.5/平積0.4m3		MTPC00158 MTPT00158
バックホウ用アタッチメント 掘り装置(伐木除根工用) 開口幅1700~2000mm爪幅400~750mm	4.16%		バックホウ用アタッチメント 掘り装置(伐木除根工用) 開口幅1,700~2,000mm 爪幅400~750mm		MTPC00085 MTPT00085
運転手(特殊)	31.21%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	15.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油,2~4KL積載車給油	10.37%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 除根作業有り			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0019

運搬(伐木除根)

SPK24040185

単第0 -0013 表

機械施工 除根作業有り DID区間無し

運搬距離0.5km以下

1

m3 当り

機械構成比: 59.50% 労務構成比: 29.20%

材料構成比: 11.30%

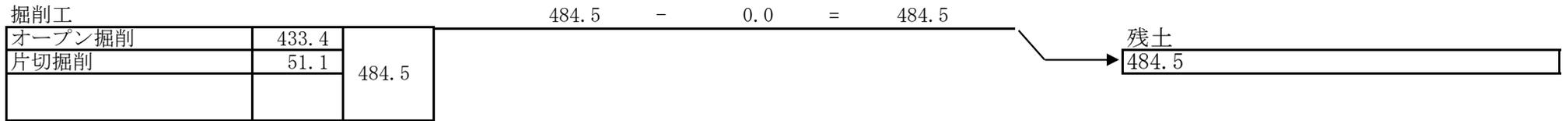
市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

664.8900

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	59.50%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00162T1 MTPT00162T1
運転手(一般)	29.20%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油,2~4KL積載車給油	11.30%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 機械施工 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 除根作業有り D=1 運搬距離0.5km以下		

土 量 配 分 表



土量の変化率：礫質土 C=0.90、L=1.20

計第 1 表

掘削

計 算 書

測 点	オープン掘削				片切掘削								備 考
	距 離	C1	平 均	立 積	距 離	C2	平 均	立 積	距 離		平 均	積	
ST. 1293		11.3				9.7							
MC. 46	5.2	48.0	29.65	154.2	2.7	4.0	6.85	18.5					
ST. 1302	4.5	31.4	39.70	178.7	1.8	5.6	4.80	8.6					
EC. 46	6.4	0.0	15.70	100.5	4.1	6.1	5.85	24.0					
合 計				433.4				51.1					

計第 2 表

掘削

計 算 書

測 点	不陸整正				溶接金網敷設				コンクリート路面				備 考
	距 離	W	平 均	平 積	距 離		平 均	平 積	距 離		平 均	平 積	
ST.0.0		4.0				4.0				4.0			
ST.20.0	21.5	4.0	4.00	86.0	21.5	4.0	4.00	86.0	21.5	4.0	4.00	86.0	
合 計				86.0				86.0				86.0	

計第 3 表

伐開・除根

計 算 書

測 点	伐開・除根								備 考	
	距 離	W2	平 均	平 積	距 離		平 均	積		
ST. 1293		18								
MC. 46	5	29	23.5	117.5						
ST. 1302	4	23	26.0	104.0						
EC. 46	6	13	18.0	108.0						
合 計				329.5						

木根等体積

$$329.5 \times 0.2 = 65.9 \text{ m}^3$$

伐採木面積当り容量を0.20として想定